

令和6年度 高松市外郭団体 経営評価シート

1 団体情報

No.	3	種別	有限会社	団体名	有限会社香南町農業振興公社		
所在地	香川県高松市香南町岡1270-13						
電話番号	086-879-8741	FAX番号	087-879-8731		所管 部局	創造都市推進局 農林水産課	
団体ホームページ	https://www.agream.net/						
代表者職氏名	代表取締役 川田 義弘		設立年月日	平成13年5月1日			
資本金	10,000	千円	市出資等額(割合)	9,500	千円	(95.0%)	
設立目的	消費者との交流等を通じて地場産品の普及の促進及び生産振興を図り、農業活性化に資することを目的に設立。						
事業概要	(1)農産物の生産、加工及び販売を行うこと。 (2)農作業及び農産物加工の体験の場を提供すること。 (3)花き栽培施設を農業者の利用に供すること。 (4)前3号に掲げるもののほか、産地形成促進施設の設置目的を達成するために必要な事業						
評価対象決算期	令和6年4月1日			～	令和7年3月31日		

2 組織の状況(4月1日現在)

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
役員数(非常勤含む)	4 人	4 人	4 人
うち市派遣(兼務含む)	0 人	0 人	0 人
うち市退職者	0 人	0 人	0 人
役員平均年間報酬	1,960 千円	1,920 千円	1,860 千円
職員数(非常勤含む)	11 人	14 人	11 人
うち市派遣(兼務含む)	0 人	0 人	0 人
うち市退職者	0 人	0 人	0 人
職員平均年間報酬	1,151 千円	886 千円	1,103 千円

3 主要事業一覧及び概要

事業名	事業概要	令和6年度事業費
香南朝市	近隣の生産者が栽培した野菜や果物、花、農産物加工品、弁当等を産直方式で販売。また、公社が栽培した農産物や手作りドーナツ、揚げ物、弁当なども販売。	39,372 千円
香南アグリーム(収穫体験、料理体験、市民農園、野菜販売、教室開催等)	公社が栽培した農作物(野菜や果物)を収穫する農業体験や、ピザ、ウインナー、うどんの手作り料理や、伝統的な餅つきなど、農産物加工の体験の場を提供。農業や農作物に関する教室なども開催。	32,313 千円

4 市の財政的関与の状況

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
補助金	0 千円	0 千円	0 千円
委託料	15,245 千円	11,467 千円	12,674 千円
うち指定管理料	15,245 千円	11,467 千円	12,674 千円
その他	2,537 千円	3,307 千円	5,782 千円

5 財務状況

①損益計算書

区分	令和6年度	令和5年度	令和4年度
売上高	65,719 千円	61,296 千円	60,728 千円
売上原価	32,182 千円	32,814 千円	34,566 千円
売上総利益	33,537 千円	28,482 千円	26,162 千円
販売費及び一般管理費	39,422 千円	36,756 千円	37,489 千円
営業利益(△の場合は損失)	△ 5,885 千円	△ 8,274 千円	△ 11,327 千円
営業外収益	5,680 千円	6,077 千円	6,300 千円
営業外費用	0 千円	0 千円	43 千円
経常利益(△の場合は損失)	△ 205 千円	△ 2,197 千円	△ 5,070 千円
特別利益	0 千円	0 千円	0 千円
特別損失	0 千円	0 千円	0 千円
法人税等	80 千円	80 千円	80 千円
当期純利益(△の場合は損失)	△ 285 千円	△ 2,277 千円	△ 5,150 千円

※四捨五入の関係上、千円ですれる場合があります。

②貸借対照表

区分	令和6年度	令和5年度	令和4年度
流動資産	5,708 千円	6,647 千円	5,522 千円
固定資産	316 千円	101 千円	169 千円
資産計	6,024 千円	6,748 千円	5,691 千円
流動負債	6,018 千円	6,457 千円	3,124 千円
固定負債	0 千円	0 千円	0 千円
負債計	6,018 千円	6,457 千円	3,124 千円
資本金	10,000 千円	10,000 千円	10,000 千円
利益剰余金等	△ 9,994 千円	△ 9,709 千円	△ 7,432 千円
純資産計	6 千円	291 千円	2,568 千円

※四捨五入の関係上、千円ですれる場合があります。

<主な経営指標>

区分	令和6年度	令和5年度	令和4年度
流動比率 (流動資産÷流動負債)	94.8 %	102.9 %	176.8 %
自己資本比率 (純資産計÷負債・純資産計)	0.1 %	4.3 %	45.1 %

6 経営評価の総括

項目	外郭団体による総括	所管課による評価
①公益的使命・市が期待する役割への対応	農業を体験する拠点施設として、また地産地消の促進のため、住民が気軽に施設を利用できるよう務めている。車いすの配置及びバリアフリー化を図っている。	「農産物の生産、加工及び販売」及び「農作業及び農産物加工の体験の場を提供」という公益的使命に対し積極的に取り組んでいる。利用者目線での環境整備も評価できる。 一方で、現在の事業だけを運営する形態では、市場や多様化するニーズに迅速に対応するには限界がある。そのため、民間のアイデアを導入しながら施設の運営形態や市の役割を再検討し、より適切な協力関係を構築していくことが求められる。 また、市民への情報発信を強化することも、引き続き重要と考える。
②業務・組織管理	時間外労働は極力実施せず、適切な人員配置に努めた。スタッフとの定期的なミーティング、また全員との面接も実施。	職員の時間外労働を抑制し、適切な人員配置に努めている点は経費削減につながり評価できるものとする。また、スタッフとの定期的なミーティングや全員面接の実施は、組織内の意思疎通の促進、モチベーションの維持向上、良好な管理体制の構築に向けた努力として評価でき、接客サービス品質の向上につながるものとする。 ただし、組織運営の効率化を追求しつつ、市の関わり方や支援のあり方についても見直しを検討する必要がある。

<p>③財務状況</p>	<p>事務所の蛍光灯は半分消し、冷暖房をこまめに調節して経費削減に努めている。また、具体的な事業について、個別に収支を勘案して取り組んでいる。</p>	<p>日々の経費削減努力や、個別事業における収支意識は評価できるものとする。しかしながら、財務状況は依然として深刻であり、速やかな対応が求められている。持続可能な運営を実現するためには、戦略的な観点から財務体質を強化するとともに、自己財源の確保に向けた具体的な施策を実行する必要がある。特に、新たな収益源の確保を目指した体験型メニューの拡充や、カフェの賃料設定の見直し、多角的な収入源の開拓が求められる。これらの取組を通じて、財務面の安定化に向けた新たな戦略を構築することが急務であるとする。</p>
<p>④今後の方向性及び課題</p>	<p>施設の認知度アップのための方策を常に念頭に業務に取り組む。人件費の段階的な上昇と良い人材の確保、並びに施設の老朽化に伴う修繕費増加が大きな課題。</p>	<p>施設の認知度向上のための方策や人件費、修繕費の増加、人材確保を課題認識していることは、持続可能性とサービスの向上に直結する重要課題であるとの確に現状を把握しており評価できるものとする。ただし、施設運営については、施設の活用促進に向けて市が一定の支援を行う状況にある。このような体制については、効率性や持続可能性の観点から、見直す必要がある。特に、民間のノウハウを活用した委託事業の見直しや協働の仕組み作りを進めることで、公社として独立した組織運営を行うことにより、公社と市の役割分担を適正化し、香南アグリームの所期の目的を達成できるよう効果的な運営を図ることが重要である。</p>

【再掲】各指標の推移

